低燃費薪ストーブ

コロケット

取扱説明書

この取扱説明書は、コロケットを正しく、安全に使用して頂くための作業手順と注意事項を記載したものです。
使用の前に必ずお読み頂き、内容を十分理解した上で使用してください。

KAWAMURA

有限会社　川　村　製　作　所

〒593-8323
大阪府堺市西区鶴田町３０番５１号
TEL/072-272-2269　FAX/072-273-8847

コロケット　保証書

引渡

① 弊社は平成　　年　　月　　日に購入者の指示に従い指定された場所に納品するものとする。

② コロケットの引き渡しは、同梱されている取扱説明書中の部品チェックシートに表記されている標準部品とオプション部品が注文通り間違いなく送付されているかを確認した時に出荷した日付をもって引き渡しが完了したものとする。

品質保証

① 弊社は、コロケットが仕様書通りの品質及び性能を有することを期限を設けて保証するものとする。

② 弊社は、引渡後２年間無償にて品質を保証し、もし破損又は使用不能な部品が発生した場合においては速やかに代替部品を無償にて納品するものとする。
但し、使用者の操作の誤りによる故障や天災等による故障については、その限りではない。

③ 燃焼室のぞき窓のガラスの汚れや傷は保証の対象とはしないものとする。

KAWAMURA

有限会社　川　村　製　作　所

〒593-8323
大阪府堺市西区鶴田町３０番５１号
TEL/072-272-2269　FAX/072-273-8847

目次

１．	安全に使用頂くための注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・２
２．	部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．	部品チェックシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
４．	構造図及び仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
５．	組立て手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６、７

○　安全にご使用頂くための注意事項

- コロケットを据え付ける床面を不燃材等で保護してください。
  炭の落下や輻射熱で火災の原因になります。

- コロケットを壁面近くに設置する場合は、コロケットと壁面の間に断熱板等を設けて、輻射熱による熱が直接建物の壁部に当たらないようにしてください。

- 壁面を貫通して排気管を外部に出す場合は、壁面貫通部にメガネ石等を使用して排気熱が直接壁に伝わらないようにしてください。

- 排気管先端部は屋根より少し高い位置まで上げて設置してください。
  低く設置すると壁面風圧がかかり排気が逆流して部屋の中に煙が入ってくる場合があります。

- コロケットの灰を取り出す場合は、可燃物の容器に入れないでください。

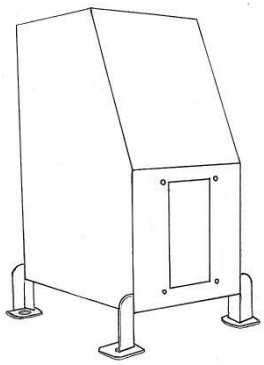
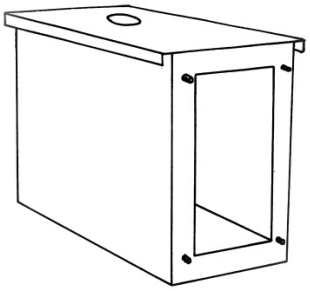
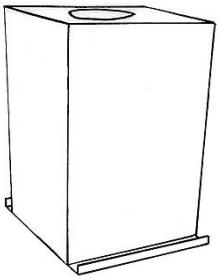
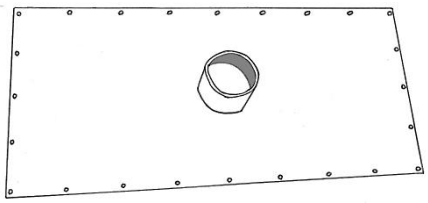
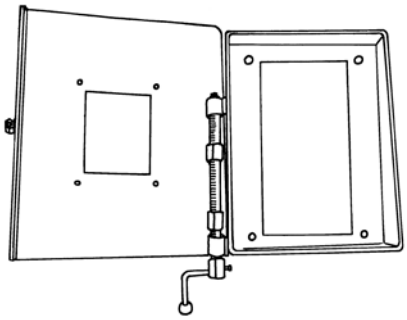
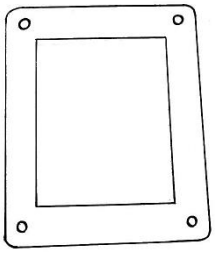
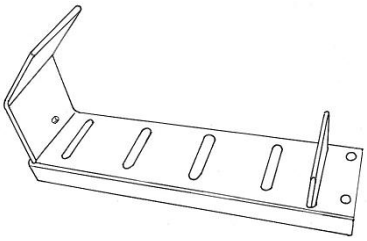
- コロケットの近くに可燃物を置かないでください。

- コロケットの給気口から流入する空気量を著しく少なくして使用すると燻った状態の燃焼となり、煤等が発生し、のぞき窓のガラスが曇ったり排気管に煤が付着したりすることがあります。

- 排気管は定期的に点検・掃除をしてください。

- コロケット燃焼中は直接本体や付属部品に触ったりしないでください。
  やけどの危険性があります。

○　部品図

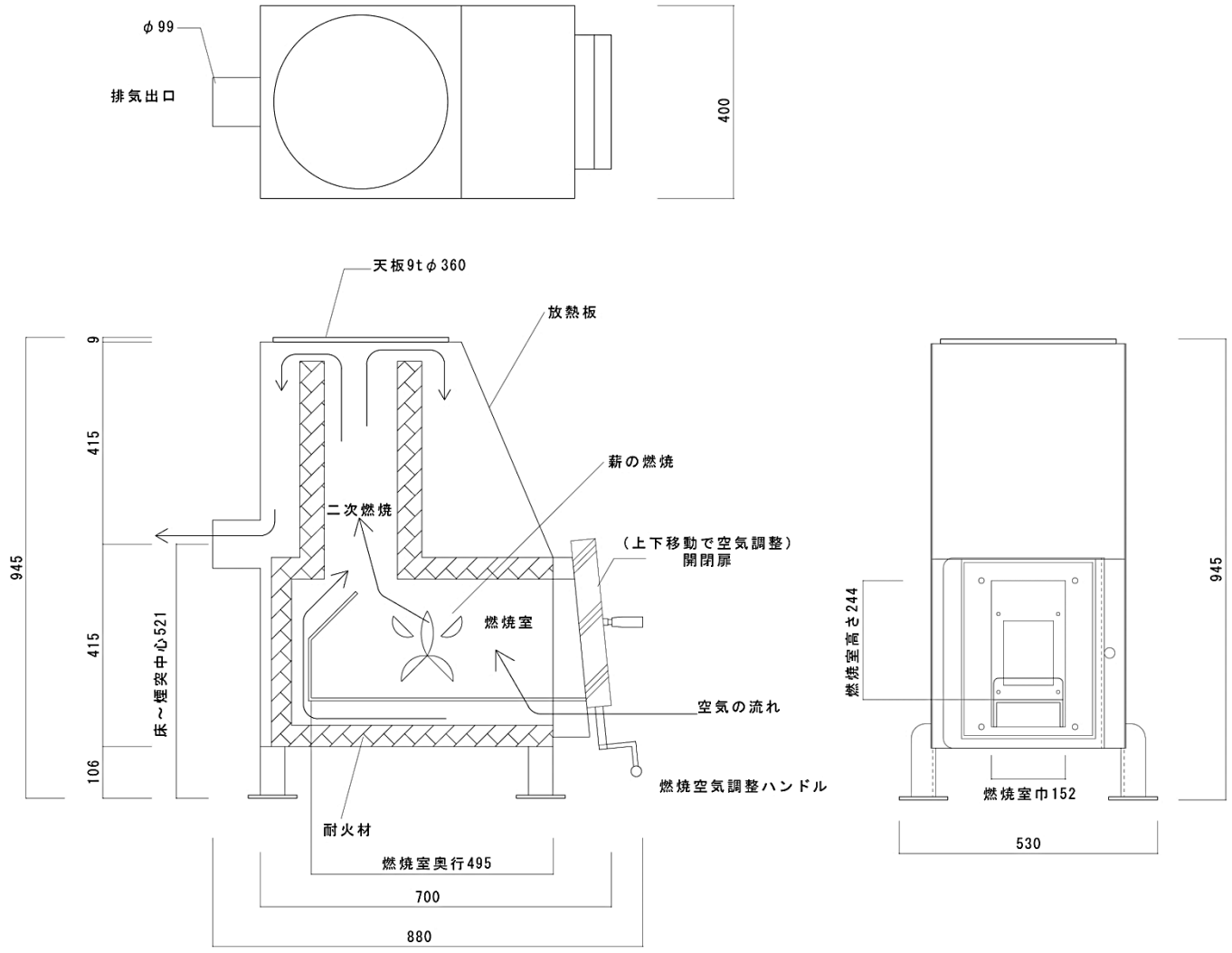
 ① 本体	 ② 燃焼室
 ③ 燃焼筒	 ④ カバー
 ⑤ 扉	 ⑤-2　ガラス取付金具
 ⑤-3　黒取手	 ⑥　火格子
⑦　灰出し棒	⑧　灰受け箱

○　部品チェックシート

	部品名	数量	チェック	重量
①	本体	1基		38kg
	天穴用　ボルト・ナット	4set		
	ネームプレート	1枚		
	ピアスビス　4×16	2本		
②	燃焼室	1台		68kg
	ナット　M10	4個		
③	燃焼筒	1台		49kg
	ボルト・ナット　M8	2set		
④	カバー	1個		6.1kg
	ピアスビス　25	24本		
	ひもパッキン　2.5m	1本		
	シリコンホース	1本		
⑤	扉	1個		13kg
	ガラス取付金具	1枚		
	ボルト・ナット　M6	4set		
	赤取手	1個		
	黒取手	1本		
	ガラス	1枚		
⑥	火格子	1個		7.6kg
	調整用ボルトナット　M12	1set		
⑦	灰出し棒	1本		
⑧	灰受け箱	1個		
			総重量	182kg

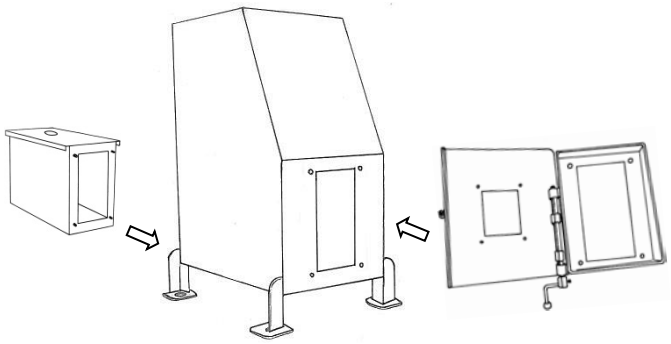
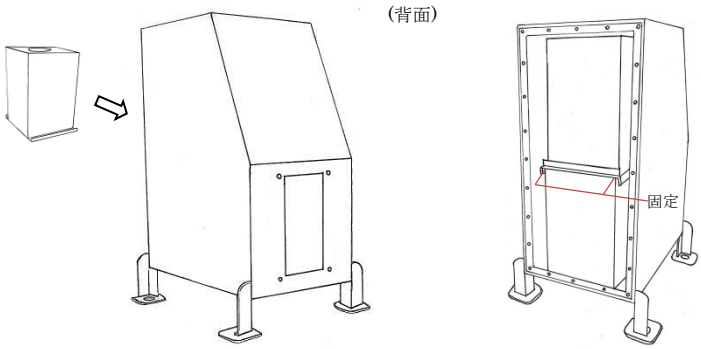
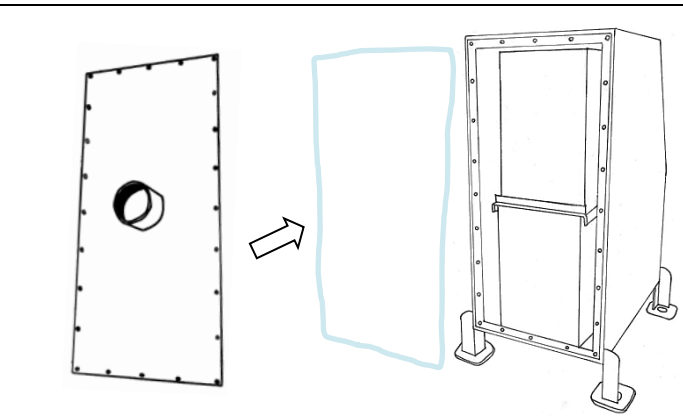
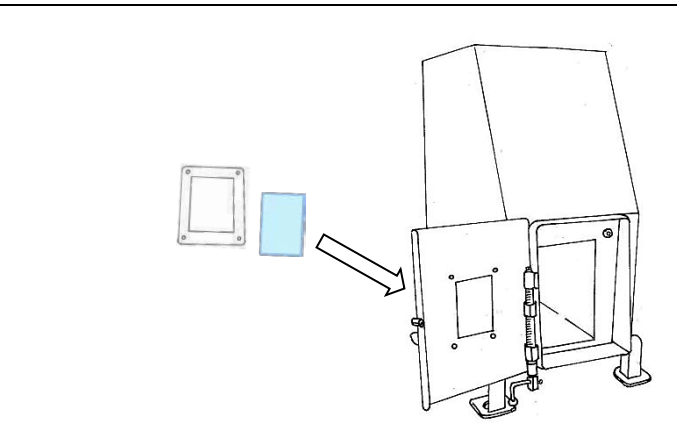
オプション品			

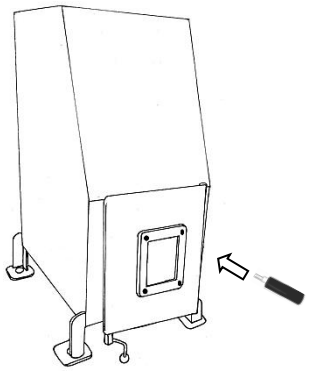
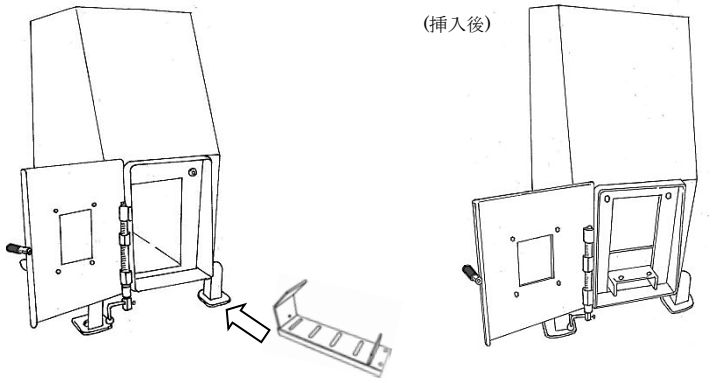
○　構造図及び仕様書



仕様書	
メーカー名	有限会社川村製作所
種類	室内設置型ロケットストーブ(薪ストーブ)
材質	SS 鋼板
耐熱加工	アルミ溶融鍍金
燃焼室材料	高密度耐火キャスタブル
燃焼方法	ロケットストーブ燃焼
火力調整	片開き扉の上下摺動による空気量調整
燃焼室点検口	耐熱ガラス
重量	約 180kg
耐熱温度	1200 度
煙突材料	ステンレススパイラルダクトφ100

○　組立て手順

燃焼室を本体に挿入して、燃焼室のボルトを本体穴に合わせる。 本体正面に出てきた燃焼室取付ボルトに合わせて扉を取り付け、M10 ナット 4 本で固定する。	
本体の後ろから本体に固定された燃焼室の上部に燃焼筒を乗せ、手前 2 箇所を M8 ボルト・ナットで固定する。	
カバーをピアスビスが緩んだ状態で軽く止める。カバーと本体の間にひもパッキンを挟み込んでからピアスビスを締めてカバーを固定する。	
扉ののぞき窓の外部にガラス取付金具で耐熱ガラスを挟み込んで固定する。	

扉の取手取付ナット側に黒取手を取り付ける。	
本体燃焼室内部に火格子を挿入する	
燃焼空気量調整ハンドルを回して扉の上下摺動を確認する。